

平成19年就業構造基本調査結果概要(姫路市)

姫路市政策推進室統計担当

1. はじめに

平成19年10月1日現在で実施しました平成19年就業構造基本調査の結果について、総務省統計局発行の「平成19年就業構造基本調査報告」より、姫路市分の結果について、概要を紹介します。

就業構造基本調査(指定統計第87号)は、国民の就業及び不就業の実態を調査し、就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に実施しています。

なお、この調査は、一定の方法で抽出した世帯に居住する15歳以上の者を対象として実施した抽出調査で、結果数値は推定値であるため、標本誤差を含んでいます。また、千位未満を四捨五入しているため、総数とその内訳の合計とは一致しない場合があります。

2. 15歳以上人口の就業状態

- 平成19年10月1日現在の15歳以上人口47万9千人(男23万1千人, 女24万9千人)を就業状態別にみると、有業者が27万8千人(男16万4千人, 女11万3千人)、無業者が20万2千人(男6万6千人, 女13万5千人)となっています。
- 15歳人口に占める有業者の割合(有業率)は、57.9%と全国の59.8%より1.9%下回っています。これを男女別にみると、男性は71.2%で全国(71.6%)よりも0.4%、女性は45.5%で全国(48.8%)より3.3%下回っています。

表1. 15歳以上人口の就業状態

(千人, %)

		姫路市			全国		
		総数	男	女	総数	男	女
総数		479	231	249	110,302	53,283	57,019
有業者	総数	278	164	113	65,978	38,175	27,803
	仕事 が 主な 者	228	158	70	54,686	36,683	18,004
	仕事 が 従 な 者	49	6	43	11,240	1,462	9,778
無業者	総数	202	66	135	44,324	15,108	29,216
	家事 を し て い る 者	104	6	99	20,400	1,100	19,301
	通学 し て い る 者	26	15	11	6,888	3,676	3,212
	その他	71	45	26	16,972	10,303	6,669
有業率		(57.9)	(71.2)	(45.5)	(59.8)	(71.6)	(48.8)

3. 年齢別有業者数、有業率

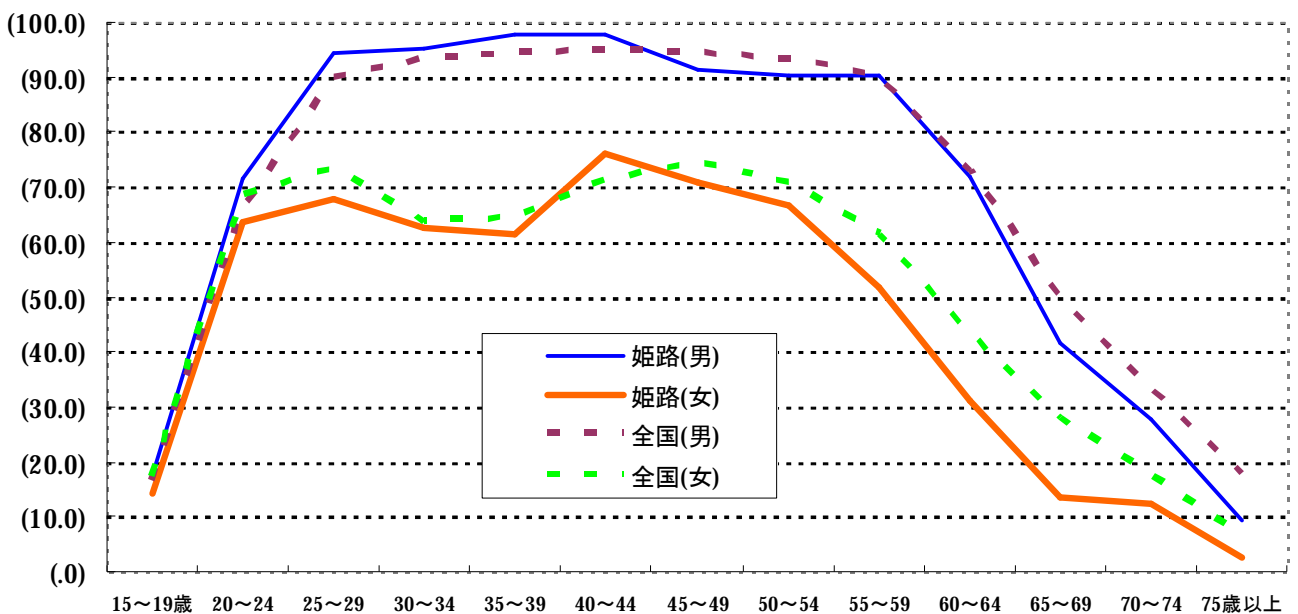
- ・男性では、20代後半から50代後半まで各年齢とも有業率が90%以上と高く、若年齢層及び高年齢層で低くなる台形パターンを示しています。全国と比べると、45歳以上で全国を下回っています。
- ・女性では、20代後半と40代前半の有業率が高くなるM字型のパターンを示しています。全国と比べると、40～44歳では姫路市の有業率が全国を上回っていますが、それ以外はすべて全国より下回っています。

表2. 年齢別有業者数、有業率

(千人, %)

	姫路市						全国					
	男			女			男			女		
	総数	有業者数	有業率	総数	有業者数	有業率	総数	有業者数	有業率	総数	有業者数	有業率
15～19歳	15	3	(17.6)	9	1	(14.4)	3,204	527	(16.4)	3,060	530	(17.3)
20～24	16	11	(71.6)	11	7	(63.6)	3,680	2,444	(66.4)	3,518	2,408	(68.4)
25～29	24	23	(94.2)	26	18	(67.8)	3,938	3,535	(89.8)	3,826	2,813	(73.5)
30～34	21	20	(95.2)	25	16	(62.5)	4,727	4,416	(93.4)	4,614	2,929	(63.5)
35～39	24	23	(97.7)	24	15	(61.4)	4,746	4,481	(94.4)	4,663	3,012	(64.6)
40～44	15	15	(97.7)	16	12	(76.2)	4,128	3,907	(94.6)	4,078	2,900	(71.1)
45～49	16	14	(91.5)	15	10	(70.9)	3,869	3,656	(94.5)	3,853	2,875	(74.6)
50～54	14	13	(90.2)	15	10	(66.8)	4,010	3,739	(93.2)	4,033	2,860	(70.9)
55～59	21	19	(90.1)	25	13	(51.7)	5,156	4,662	(90.4)	5,271	3,241	(61.5)
60～64	17	13	(71.8)	20	6	(31.1)	4,126	3,013	(73.0)	4,343	1,888	(43.5)
65～69	15	6	(41.6)	16	2	(13.4)	3,745	1,871	(50.0)	4,091	1,151	(28.1)
70～74	12	3	(27.7)	15	2	(12.5)	3,190	1,067	(33.4)	3,731	660	(17.7)
75歳以上	21	2	(9.4)	31	1	(2.7)	4,765	856	(18.0)	7,938	535	(6.7)

図1. 姫路市の年齢別有業率



4. 従業上の地位別、雇用形態別構造

- ・従業上の地位別にみると、男女ともに「雇用者」(男 86.3%、女 91.0%)が最も多く、次いで「自営業主」(男 12.7%、女 4.2%)、「家族従業者」(男 0.4%、女 3.9%)となっています。全国と比べると、男性・女性共にほぼ同様の構成比を示しています。
- ・雇用形態別にみると、男性は「正規の職員・従業員」が 64.9%と男性有業者数の2/3弱を占めているのに対し、女性では「正規の職員・従業員」(37.5%)、「パート」(29.9%)が女性有業者の約1/3ずつを占める結果となっています。全国と比べると、男女ともほぼ同様の構成比となっています。

表3. 従業上の地位・雇用形態別構造

(千人、%)

			総数	自営業主	家族従業者	雇用者				
						総数	うち会社などの役員	うち正規の職員・従業員	うちパート	うちアルバイト
姫路市	男	実数	164	21	1	142	12	107	3	9
		構成比	(100.0)	(12.7)	(0.4)	(86.3)	(7.2)	(64.9)	(1.8)	(5.4)
	女	実数	113	5	4	103	4	42	34	7
		構成比	(100.0)	(4.2)	(3.9)	(91.0)	(3.7)	(37.5)	(29.9)	(6.3)
全国	男	実数	38,175	4,951	311	32,814	3,079	23,799	915	2,059
		構成比	(100.0)	(13.0)	(0.8)	(86.0)	(8.1)	(62.3)	(2.4)	(5.4)
	女	実数	27,803	1,724	1,565	24,460	933	10,526	7,940	2,021
		構成比	(100.0)	(6.2)	(5.6)	(88.0)	(3.4)	(37.9)	(28.6)	(7.3)

5. 有業者の産業別構造

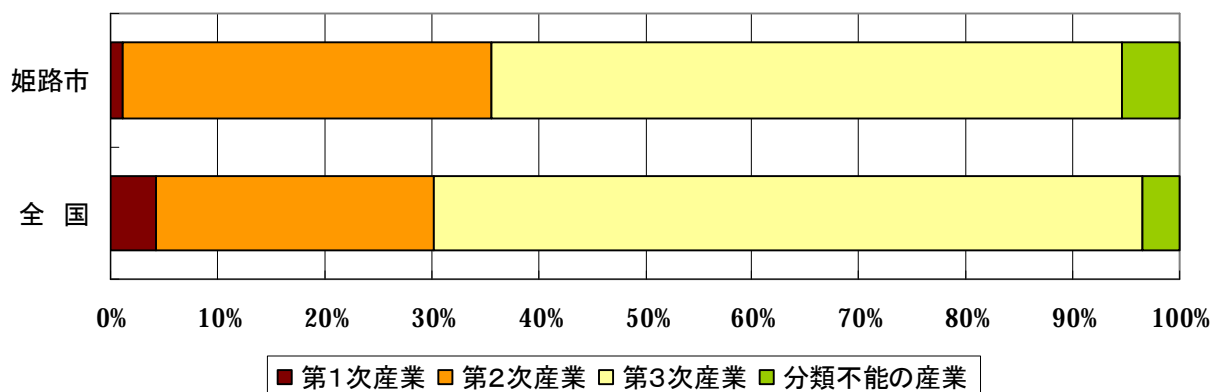
- ・産業別にみると、「製造業」が7万2千人(構成比 25.9%)で最も多く、ついで「卸売・小売業」の5万2千人(18.8%)、「サービス業(他に分類されないもの)」の3万2千人(11.4%)となっています。
- ・産業3部門別にみると、第一次産業は有業者の1.1%、第二次産業は34.5%、第三次産業は59.1%となっています。全国と比べると、第2次産業の構成比が高く、第1次・第3次産業の構成比が低くなっています。

表4. 有業者の産業別構造

(千人, %)

		姫路市		全国	
		総数	構成比	総数	構成比
総数		278	(100.0)	65,978	(100.0)
第1次産業	農業	2	(0.8)	2,481	(3.8)
	林業	-	-	50	(0.1)
	漁業	1	(0.3)	218	(0.3)
第2次産業	鉱業	-	-	30	(0.0)
	建設業	24	(8.5)	5,471	(8.3)
	製造業	72	(25.9)	11,623	(17.6)
第3次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	1	(0.5)	378	(0.6)
	情報通信業	4	(1.5)	2,256	(3.4)
	運輸業	10	(3.6)	3,270	(5.0)
	卸売・小売業	52	(18.8)	11,457	(17.4)
	金融・保険業	9	(3.2)	1,714	(2.6)
	不動産業	3	(0.9)	1,048	(1.6)
	飲食店, 宿泊業	12	(4.2)	3,480	(5.3)
	医療, 福祉	21	(7.6)	5,958	(9.0)
	教育, 学習支援業	12	(4.5)	2,977	(4.5)
	複合サービス事業	2	(0.6)	512	(0.8)
	サービス業 (他に分類されないもの)	32	(11.4)	8,640	(13.1)
	公務(他に分類されないもの)	6	(2.2)	2,185	(3.3)
分類不能の産業		15	(5.3)	2,230	(3.4)

図2. 有業者の産業別構成比



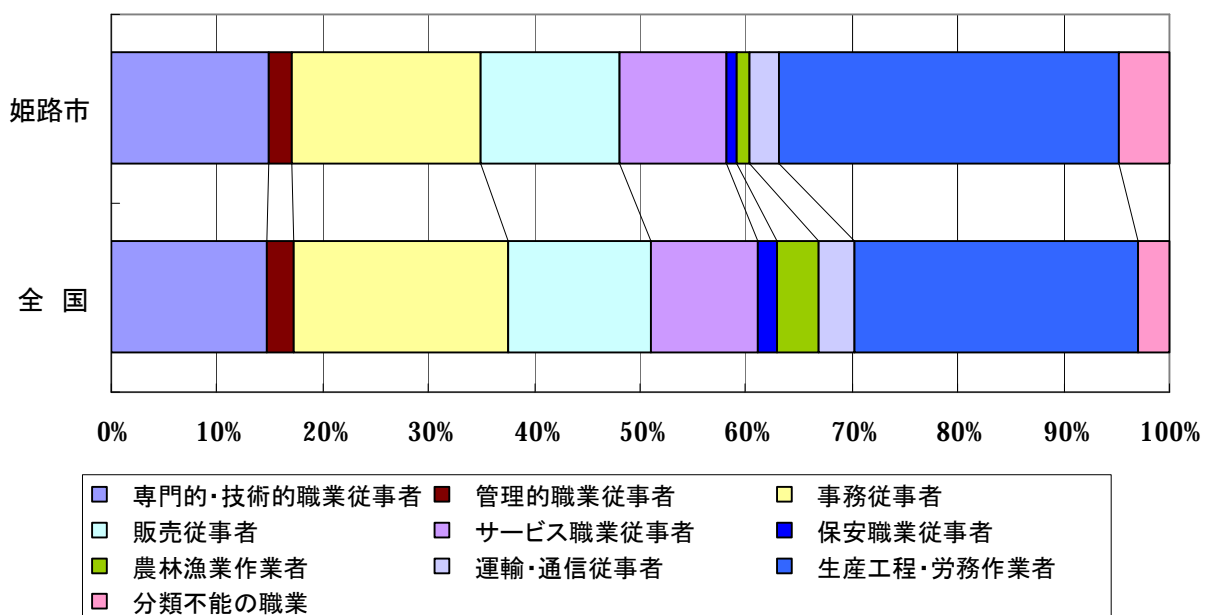
6. 有業者の職業別構造

・職業別にみると、「生産工程・労務作業者」が9万人（構成比 **32.3%**）で最も多く、ついで「事務従事者」の5万人（**17.9%**）、「専門的・技術的職業従事者」の4万1千人（**14.8%**）となっています。全国と比べると、生産工程・労務作業者（姫路市 **32.3%**、全国 **26.9%**）の構成比が高く、逆に農林漁業従事者（姫路市 **1.1%**、全国 **4.1%**）が低くなっています。

表5. 有業者の職業別構造 (千人, %)

	姫路市		全国	
	総数	構成比	総数	構成比
総数	278	(100.0)	65,978	(100.0)
専門的・技術的職業従事者	41	(14.8)	9,647	(14.6)
管理的職業従事者	6	(2.2)	1,797	(2.7)
事務従事者	50	(17.9)	13,330	(20.2)
販売従事者	36	(13.0)	8,887	(13.5)
サービス職業従事者	28	(10.1)	6,702	(10.2)
保安職業従事者	3	(1.1)	1,093	(1.7)
農林漁業作業者	3	(1.1)	2,710	(4.1)
運輸・通信従事者	8	(2.7)	2,116	(3.2)
生産工程・労務作業者	90	(32.3)	17,734	(26.9)
分類不能の職業	13	(4.7)	1,962	(3.0)

図3. 有業者の職業別構成比



7. 有業者の年間就業日数及び週間就業時間

【有業者の年間就業日数】

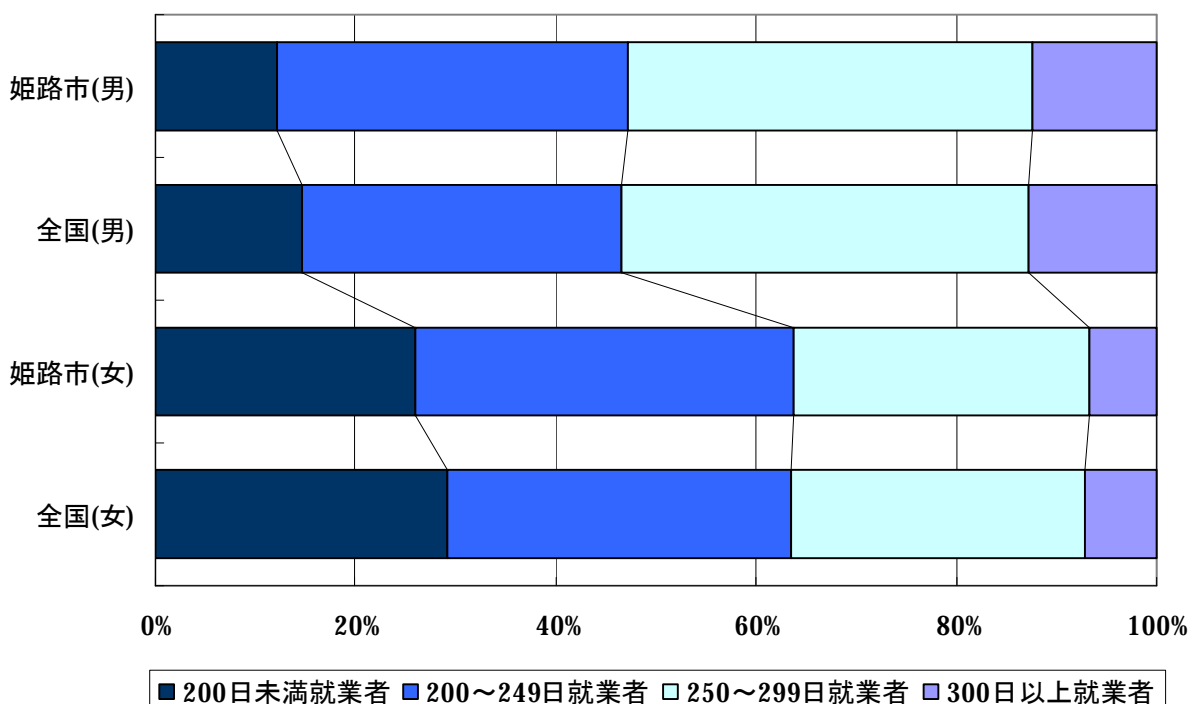
- ・男性では、「250～299日就業者」（6万6千人，40.0%）が最も多く、次いで「200～249日就業者」（5万7千人，34.7%）、「300日以上従業者」（2万人，12.2%）、「200日未満就業者」（2万人，12.0%）となっています。全国と比べると、姫路市では、「200～249日就業者」の構成比が高くなっており、「200日未満就業者」、「250～299日就業者」、「300日以上従業者」で低くなっています。
- ・女性では、「200日～249日就業者」（4万2千人，37.0%）が最も多く、次いで「250～299日就業者」（3万3千人，29.1%）、「200日未満就業者」（2万9千人，25.6%）、「300日以上就業者」（7千人，6.5%）となっています。全国と比べると、姫路市では、「200～249日就業者」、「250～299日就業者」の構成比が高くなっており、「200日未満就業者」、「300日以上就業者」が低くなっています。

表6. 有業者の年間就業日数

(千人, %)

	姫路市				全国			
	男		女		男		女	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	164	(100.0)	113	(100.0)	38,175	(100.0)	27,803	(100.0)
200日未満就業者	20	(12.0)	29	(25.6)	5,512	(14.4)	7,986	(28.7)
200～249日就業者	57	(34.7)	42	(37.0)	12,041	(31.5)	9,461	(34.0)
250～299日就業者	66	(40.0)	33	(29.1)	15,378	(40.3)	8,070	(29.0)
300日以上就業者	20	(12.2)	7	(6.5)	4,817	(12.6)	1,949	(7.0)

図4. 有業者の年間就業日数



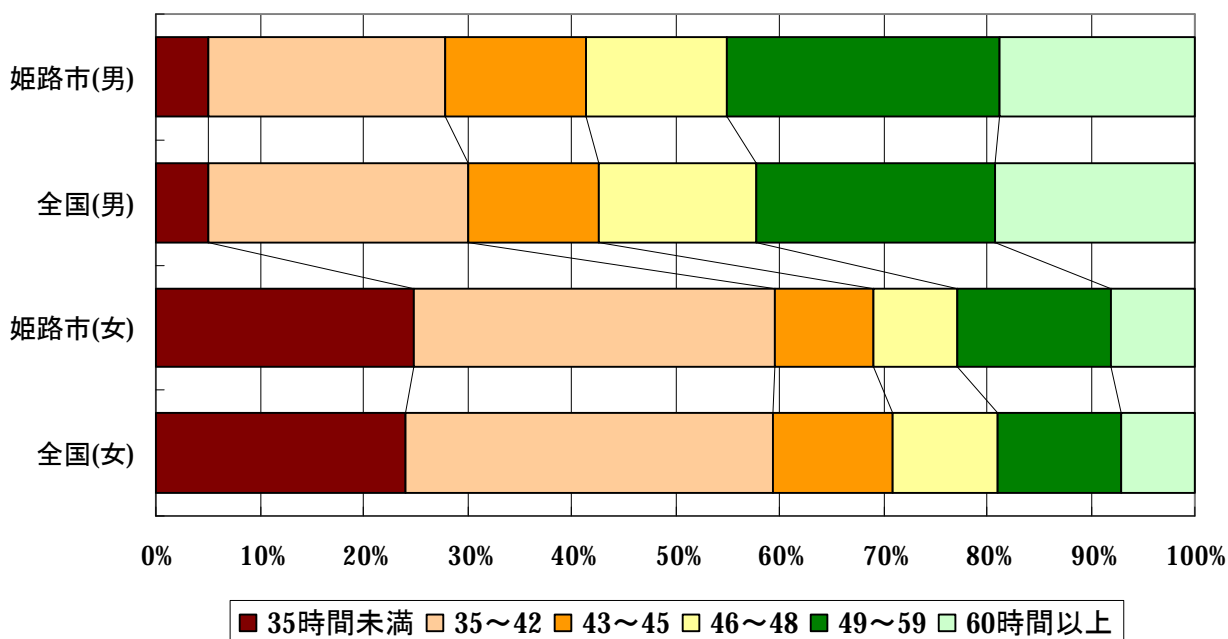
【有業者の週間就業時間（年間就業日数200日以上）】

- ・男性では、「49～59時間」（3万7千人，26.1%）が最も多くなっており、次いで「35～42時間」（3万2千人，22.6%）、「60時間以上」（2万7千人，18.8%）となっています。全国と比べると、姫路市では「43～45時間」、「49～59時間」の構成比が高くなっていますが、それ以外では低くなっています。
- ・女性では、「35～42時間」（2万9千人，34.8%）が最も多くなっており、次いで「35時間未満」（2万人，25.0%）、「49～59時間」（1万2千人，14.6%）となっています。全国と比べると、姫路市では「35時間未満」、「49～59時間」、「60時間以上」の構成比が高くなっていますが、それ以外では低くなっています。

表7. 有業者の週間就業時間 (千人, %)

	姫路市				全国			
	男		女		男		女	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	143	(100.0)	82	(100.0)	32,235	(100.0)	19,480	(100.0)
35時間未満	7	(3.5)	20	(25.0)	1,626	(5.0)	4,652	(23.9)
35～42	32	(22.6)	29	(34.8)	8,066	(25.0)	6,859	(35.2)
43～45	19	(13.6)	8	(9.4)	4,032	(12.5)	2,271	(11.7)
46～48	19	(13.5)	7	(8.2)	4,823	(15.0)	1,948	(10.0)
49～59	37	(26.1)	12	(14.6)	7,438	(23.1)	2,297	(11.8)
60時間以上	27	(18.8)	7	(8.2)	6,144	(19.1)	1,386	(7.1)

図5. 有業者の週間就業時間



8. 有業者の所得構造

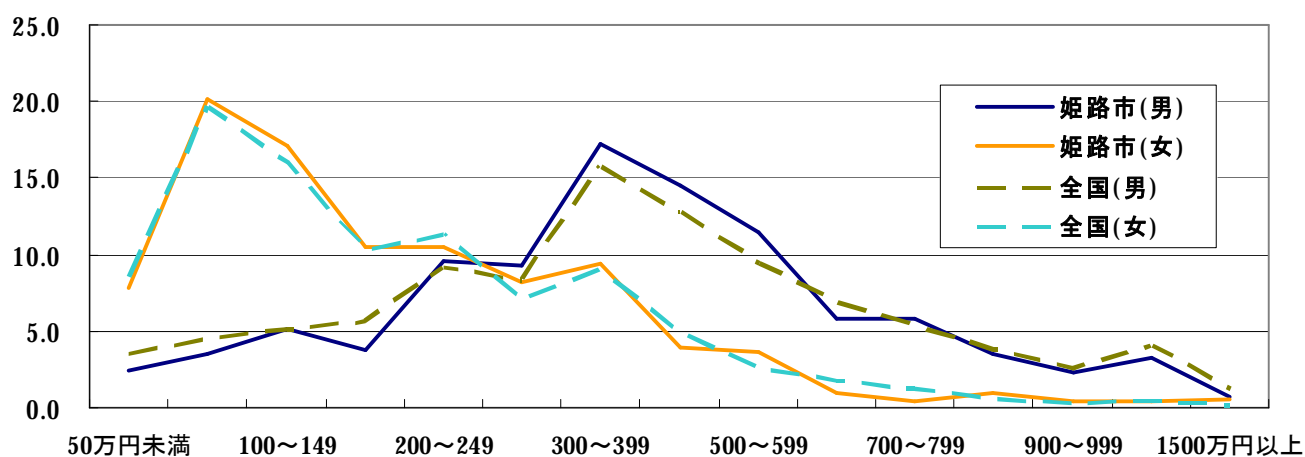
- ・男性では、「300～399万円」の2万8千人(17.2%)が最も多く、次いで「400～499万円」の2万4千人(14.5%)、「500～599万円」の1万9千人(11.4%)となっています。全国と比べると、ほぼ同じような構成比となっており、「300～399万円」が最も高くなっています。
- ・女性では、「50～99万円」の2万3千人(20.1%)が最も多く、次いで「100～149万円」の1万9千人(17.0%)、「150～199万円」の1万2千人(10.5%)となっています。全国と比べると、ほぼ同じような構成比となっており、「50～99万円」が最も高くなっています。

表8. 有業者の所得構造

(千人, %)

	姫路市				全国			
	男		女		男		女	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	164	(100.0)	113	(100.0)	38,175	(100.0)	27,803	(100.0)
50万円未満	4	(2.4)	9	(7.8)	1,360	(3.6)	2,369	(8.5)
50～99万円	6	(3.5)	23	(20.1)	1,672	(4.4)	5,459	(19.6)
100～149	8	(5.1)	19	(17.0)	1,968	(5.2)	4,458	(16.0)
150～199	6	(3.7)	12	(10.5)	2,147	(5.6)	2,834	(10.2)
200～249	16	(9.5)	12	(10.4)	3,465	(9.1)	3,129	(11.3)
250～299	15	(9.3)	9	(8.2)	3,161	(8.3)	1,940	(7.0)
300～399	28	(17.2)	11	(9.4)	5,983	(15.7)	2,511	(9.0)
400～499	24	(14.5)	4	(3.9)	4,865	(12.7)	1,334	(4.8)
500～599	19	(11.4)	4	(3.6)	3,605	(9.4)	728	(2.6)
600～699	10	(5.8)	1	(1.0)	2,613	(6.8)	478	(1.7)
700～799	9	(5.7)	1	(0.4)	2,060	(5.4)	324	(1.2)
800～899	6	(3.5)	1	(1.0)	1,446	(3.8)	161	(0.6)
900～999	4	(2.3)	0	(0.4)	959	(2.5)	75	(0.3)
1000～1499	5	(3.2)	1	(0.4)	1,519	(4.0)	98	(0.4)
1500万円以上	1	(0.7)	1	(0.5)	479	(1.3)	37	(0.1)

図6. 所得の男女別構成比



9. 1年前との就業異動状況

- ・男性では、「継続就業」が13万1千人(56.7%)と最も多く、次いで「継続非就業」の6万2千人(26.8%)、「新規就業」の1万7千人(7.4%)となっています。全国と比べると、「新規就業」、「継続非就業」の率は全国を上回っていますが、「継続就業」、「離職」の率は全国を下回っています。
- ・女性では、「継続非就業」が12万4千人(50.0%)と最も多く、次いで「継続就業」の9万1千人(36.5%)、「新規就業」の1万1千人(4.6%)となっています。全国と比べると、「離職」、「新規就業」、「継続非就業」の率は全国を上回っていますが、「継続就業」、「転職」の率は下回っています。

表9. 1年前との就業異動状況 (千人, %)

		姫路市		全国	
		男	女	男	女
総数		231	249	53,283	57,019
継続就業	総数	131	91	33,729	22,950
	率	(56.7)	(36.5)	(63.3)	(40.3)
転職	総数	8	7	1,809	1,875
	率	(3.4)	(2.8)	(3.4)	(3.3)
離職	総数	4	11	1,292	1,989
	率	(1.9)	(4.5)	(2.4)	(3.5)
新規就業	総数	17	11	1,686	2,358
	率	(7.4)	(4.6)	(3.2)	(4.1)
継続非就業	総数	62	124	13,669	26,968
	率	(26.8)	(50.0)	(25.7)	(47.3)

10. 前職の離職理由

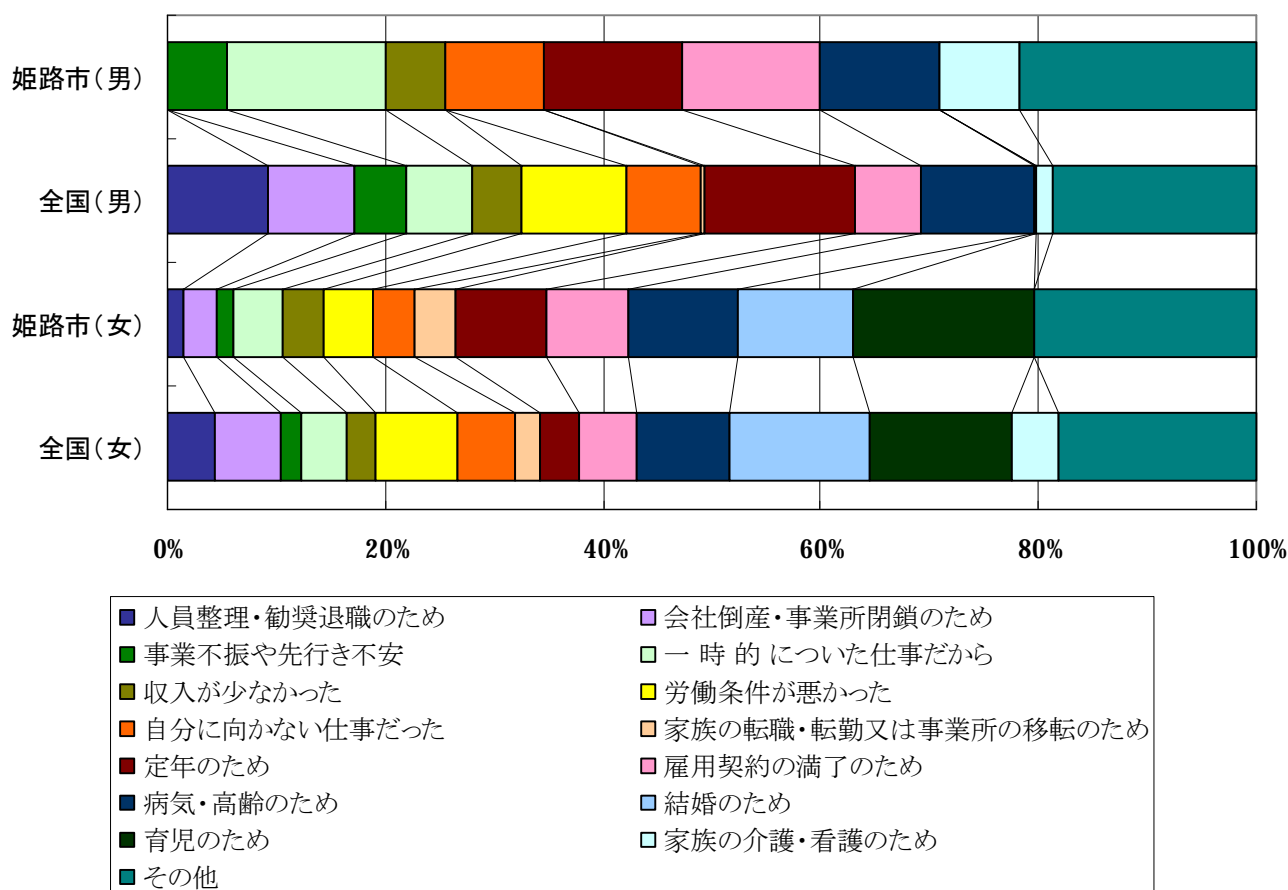
- ・男性では、「その他」が1千2百人(21.1%)と最も多く、次いで「一時的についた仕事だから」の8百人(14.0%)、「定年のため」「雇用契約の満了のため」の7百人(12.3%)となっています。全国と比べると、姫路市では、「一時的についた仕事だから」の構成比が非常に高く、次いで「雇用契約の満了のため」、「家族の介護・看護のため」が高くなっています。
- ・女性では、「その他」が2千7百人(20.3%)と最も多く、次いで「育児のため」の2千2百人(16.5%)、「結婚のため」の1千4百人(10.5%)となっています。全国と比べると、姫路市では、「定年のため」、「育児のため」の構成比がやや高めとなっています。

表 10. 前職の離職理由

(千人, %)

	姫路市				全 国			
	男		女		男		女	
	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比
総 数	5.7	(100.0)	13.3	(100.0)	1,523	(100.0)	2,325	(100.0)
人員整理・勧奨退職のため	-	-	0.2	(1.5)	137	(9.0)	99	(4.3)
会社倒産・事業所閉鎖のため	-	-	0.4	(3.0)	119	(7.8)	137	(5.9)
事業不振や先行き不安	0.3	(5.3)	0.2	(1.5)	73	(4.8)	41	(1.8)
一時的についた仕事だから	0.8	(14.0)	0.6	(4.5)	90	(5.9)	96	(4.1)
収入が少なかった	0.3	(5.3)	0.5	(3.8)	68	(4.4)	60	(2.6)
労働条件が悪かった	-	-	0.6	(4.5)	144	(9.4)	170	(7.3)
自分に向かない仕事だった	0.5	(8.8)	0.5	(3.8)	102	(6.7)	118	(5.1)
家族の転職・転勤又は事業所の移転のため	-	-	0.5	(3.8)	7	(0.4)	54	(2.3)
定年のため	0.7	(12.3)	1.1	(8.3)	204	(13.4)	81	(3.5)
雇用契約の満了のため	0.7	(12.3)	1.0	(7.5)	91	(6.0)	120	(5.2)
病気・高齢のため	0.6	(10.5)	1.3	(9.8)	157	(10.3)	189	(8.1)
結婚のため	-	-	1.4	(10.5)	1	(0.1)	294	(12.6)
育児のため	-	-	2.2	(16.5)	1	(0.1)	295	(12.7)
家族の介護・看護のため	0.4	(7.0)	-	-	22	(1.5)	98	(4.2)
その他	1.2	(21.1)	2.7	(20.3)	280	(18.4)	409	(17.6)

図7. 前職の離職理由



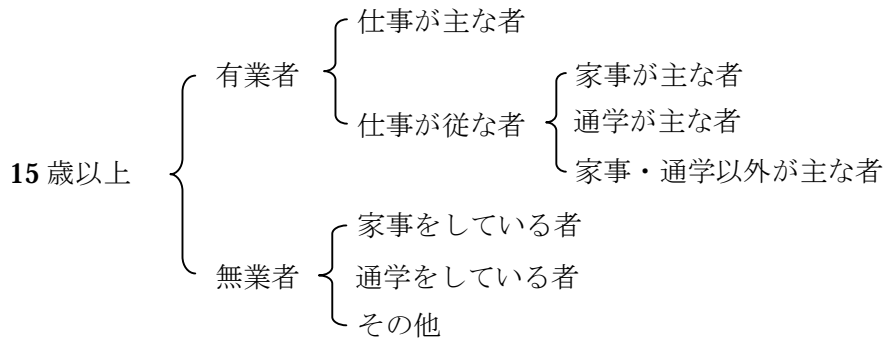
11. 主な用語の解説

(1) 年齢

年齢は平成19年9月30日による満年齢です。

(2) 就業状態

15歳以上の者をふだんの就業・不就業状態によって、次のように区分しました。



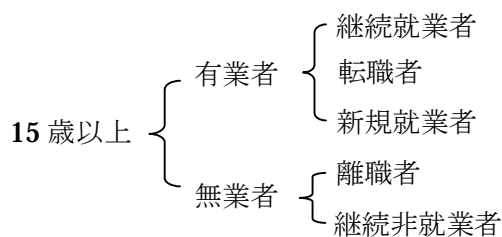
- ・有業者—ふだんの状態で収入を得ることを目的として仕事をしており、今後も続ける予定の者及び仕事は持っているが現在仕事を休んでいる者
- ・無業者—ふだん全く仕事をしていない者と臨時的にしか仕事をしていない者

(3) 従業上の地位

- ・自営業者—一人で事業を営んでいる者
- ・家族従業者—自営業主の家族で、その自営業主の営む事業に従事している者
- ・雇 用 者—会社、個人商店、団体、公社、官公庁などに雇用されて賃金、給与を受けている者

(4) 就業異動

過去1年以内の就業異動により、15歳以上の者を次のように区分しました。



- ・継続就業者—1年前も現在と同じ勤め先で就業していた者
- ・転 職 者—1年前の勤め先と現在の勤め先が異なる者
- ・新規就業者—1年前には仕事をしていなかったが、この1年間に現在の仕事に就いた者
- ・離 職 者—1年前には仕事をしていたが、その仕事をやめて、現在は仕事をしていない者
- ・継続非就業者—1年前も現在も仕事をしていない者